

2024年6月24日

一般社団法人日本医学会連合
加盟学会 代表理事・理事長・会長 殿

一般社団法人日本医学会連合
会長 門脇 孝

生物科学学会連合より

「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書（改訂案）」について

平素より、日本医学会連合の活動にご協力賜り誠にありがとうございます。

生物科学学会連合より、標記要望書について、これまでの意見を反映した改訂案について連絡を受付いたしましたのでお知らせいたします。

これまでの経緯について、6月14日（金）開催の定時総会において概要をご説明いたしました。日本医学会連合としては前回提示された要望書について、加盟学会のアンケート結果をまとめ、下記3点を生物科学学会連合に回答いたしました。

生物科学学会連合への提出した修正案の要点

1. 要望の公共性の根拠について記述する必要性について
 - ・（修正案）要望書の第2パラグラフの最後に「これらの研究成果は国民の生活、健康の向上に大きな貢献をしてきました。」を挿入
2. ボトムアップ型予算の充実とトップ型予算の適正・厳格な運用について、中長期的な視点でボトムアップ型とトップダウン型の予算の最適化について
 - ・（修正案）第3パラグラフの最後に「トップダウン型予算については過度な予算の集中がおきないように適正・厳格な運用と見直し、科研費とのバランスの良い予算配分が必要です」を挿入
 - ・（修正案）最後から2つ目のパラグラフに「中長期的な視点で制度を最適化しながら」と文章を修正
3. 「デュアルサポート」という表現は国立大学に対する支援のため、公立、私立大学にはなじまないのではないか
 - ・（修正案）一部の表現を、「大学に対する運営費交付金等の基盤的経費」に変更（第1パラグラフ）
 - ・デュアルサポートについては本要望書で繰り返し強調されている内容のため、「運営費交付金等」という表現で公立、私立大学の基盤経費を含めた内容という考え方ではどうか

また、6月4日（火）には、生物科学学会連合主催にて、本要望書についてオンライン意見交換会が開催され、その場においても日本医学会連合としての意見を述べました。

このたび、別添のとおり、生物科学学会連合より、これまで関係学会連合等から挙げられた意見を反映した改訂案が提示され、あらためて要望書ならびに署名活動について、賛同／協力の有無をお伺いしたいという問い合わせがございました。先に開始する署名活動（署名サイトを利用）は6月中の開始を予定し、状況を見て要望書の提出の時期を検討していくということです。署名開始予定日が近いため、署名サイトの提案者は開始時点の回答状況にて初期掲載しますが、随時追加掲載の対応をするため、学会としての意向が確定次第、連絡いただけるようお願いしたいということです。

つきましては、期日が短く恐れ入りますが、貴学会において、要望書についてのご意見がございましたら、6月26日（水）までにご連絡をお願いいたします。

要望書の提案者、署名サイトの提案者としての参加については、貴学会の意向が決まり次第、ご回答いただきますようお願いいたします。前回同様、日本医学会連合においてとりまとめ、先方に回答いたします。

【添付資料】

- 資料1 生物科学学会連合 要望書（修正前）
- 資料2 生物科学学会連合 要望書（改訂案）
- 資料3 生物科学学会連合 署名サイト呼びかけ文章（修正前）
- 資料4 生物科学学会連合 署名サイト呼びかけ文章(改訂版)

【回答項目】

A. 要望書（改訂案）についてのご意見（6月26日（水）まで）

回答先：日本医学会連合事務局（member@jmsf.or.jp）

B. 以下の項目については下記 URL よりご回答ください。

回答先：<https://forms.gle/oyX5FuP63cFWM51z6>

回答期日：学会の意向が決まり次第ご回答ください

（署名活動は6月中に開始予定。回答受付次第、随時追加掲載を予定）

1. 「要望書」の提案者としての参加について

- 参加する
- 参加しない
- 未定

2. 「署名サイト」から研究者・一般市民に署名を求めることが計画されていますが、この署名募集に提案者として貴学会名を掲載することについて
- 同意する
 - 同意しない
 - 未定
3. 「署名サイト」へのリンクを貴学会のホームページに掲載することは可能でしょうか。
- はい
 - いいえ
4. 「署名サイト」について、貴学会員に周知していただくことは可能でしょうか。
- はい
 - いいえ

以上